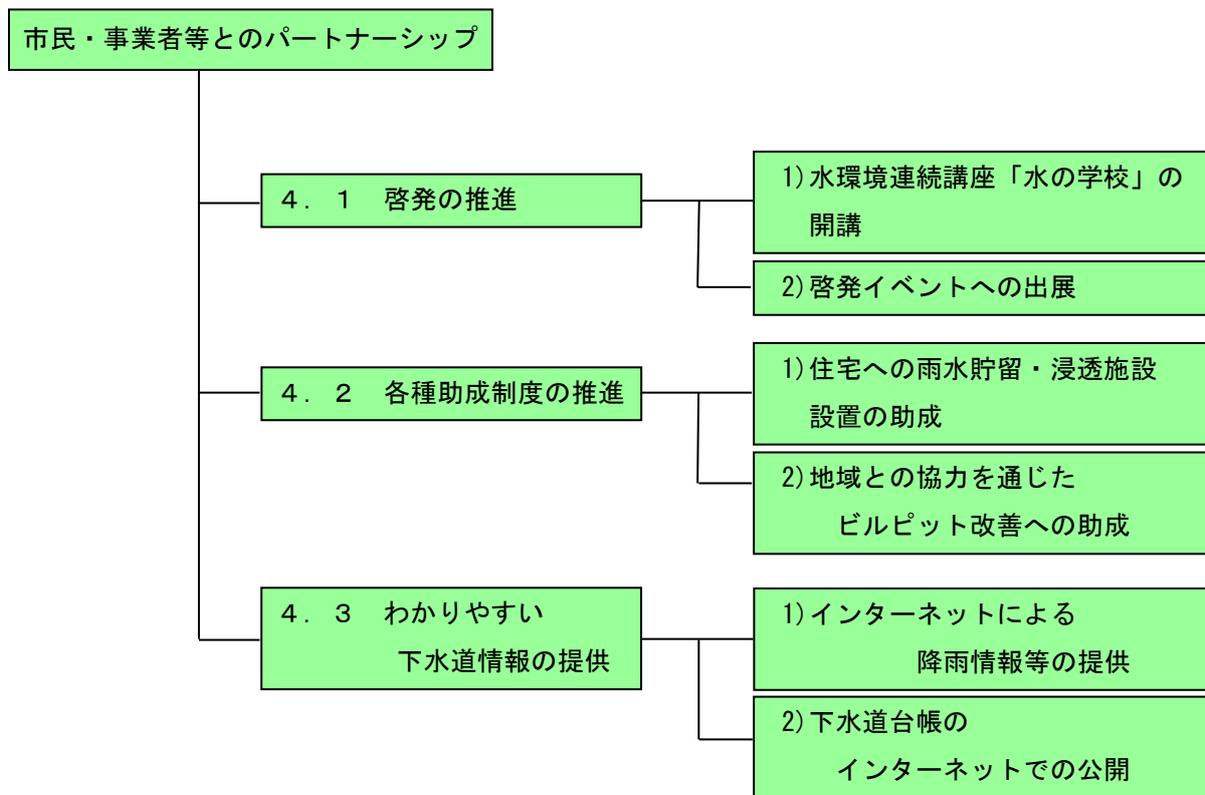


4. 市民・事業者等とのパートナーシップ

これまでの下水道事業は公が実施すべき公共課題と捉えられることが多かったが、近年は井の頭公園内での湧水の減少等の身近な問題への関心も高まっている。多様化するニーズを満たすためには、市民・事業者等とのパートナーシップによる取り組みが不可欠である。

本項では、市民・事業者等とのパートナーシップを推進するための方針、施策を示す。



市民とのパートナーシップに向けての施策体系

4. 1 啓発の推進

(1) 方針

一般住宅地への雨水浸透施設の設置には雨水対策や下水道の仕組みに関する市民の理解・関心が不可欠である等、市民や事業者等から下水道に関する協力を得るためには、啓発が重要となる。

そのため、質が高く、わかりやすい下水道の情報を積極的に発信する。その際、平成32年度に開設予定の環境啓発施設「エコプラザ（仮称）」の積極的な活用を検討する。

(2) 具体的な施策

1) 水環境連続講座「水の学校」の開講（P44の再掲）

暮らしの中の身近な水循環や下水道の役割等、水に関する様々なテーマについて市民とともに知り、考える参加型の水環境連続講座「水の学校」を平成26年度から開講している。今後も講座を継続し、多くの市民に対し下水道に関する深い理解を促す。



「水の学校」パンフレット



「水の学校」の様子

2) 啓発イベントへの出展

水防訓練、東部フェスティバル、むさしの環境フェスタ等のイベントに出展し、来場者へ下水道に関する啓発を行う。その際、適宜アンケートを実施し、下水道に関するニーズの把握に努める。



むさしの環境フェスタの様子

4. 2 各種助成制度の推進

(1) 方針

浸水対策や水環境の保全・創出を総合的に実施するためには、民有地での対策が必要となる。そのため、各種助成制度を整備し、下水道に関する設備の設置、改善等を促す。

(2) 具体的な施策

1) 住宅への雨水貯留・浸透施設設置の助成 (P38・43・46 の再掲)

民間住宅（新築・既設）に対し、雨水浸透ますや雨水浸透トレンチ、雨水貯留タンクへの設置費用の助成を行う。その際、ホームページや市報だけでなく、市内の指定排水設備業者の協力を得ながらPRを推進する。

2) 地域との協力を通じたビルピット改善への助成 (P45 の再掲)

特に吉祥寺駅周辺について、臭いの発生源であるビルピットの臭気対策に対し、助成を行う。その際、臭気問題を地域全体で共有するために、吉祥寺活性化協議会と協力し、建物所有者に対して問題認識を促すとともに、助成金の積極的なPRを行う。

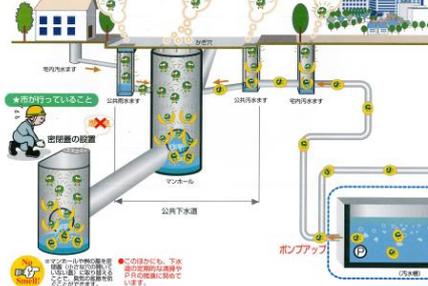
吉祥寺の臭いと市の取り組み

吉祥寺駅の周りでは、古くから慢性的に、原因不明の悪臭が発生していました。そして、慢性的な悪臭が発生したままでは、「吉祥寺」という街や駅前商店街のイメージダウンを招く怖れがあり、臭気への対策が要望されていました。また一方では、ごく一部の特定の発生源以外からの臭気には法律（悪臭防止法）の適用が難しく、他の都市と同様に近郊都市でも思うように対策が進められない状況にありました。市では、悪臭する悪臭への密着を受けて調査を行った結果、原因の一つとして、ビルピット（ビルの地下にある排水槽）に、溜り溜りした雨水が臭気の原因となることが判明しました。この結果が下水道の「雨水槽」や「マンホールや公共棟の小さな穴（かぜ穴）」を巡って騒動することがあります。これらの結果を踏まえて臭気抑制の対策を検討し、市では次のような取り組みを行っています。

- マンホールや公共棟からの悪臭の拡散を防止。
 - 老朽化した公共棟、取付管の交換。
 - 漏れた下水を溜めない。
- しかし、悪臭のもとを完全に断つためには、住民のみならずのご協力が必要です。

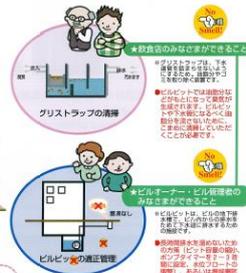
排水設備（市内の私設下水道）

- 汚水ます
- 雨水ます
- 宅内排水槽



これをやれば防げる臭い！！

排水設備（市内の私設下水道）は、健康で衛生的な生活を送るためには欠かせないとても大切なものです。生活に支障を及ぼすことなく快適に暮らすためには、汚れや詰まりは臭いのもとにもなるため、住民のみならず自分自身で管理して頂くことが必要です。イヤな臭いをもとから無くすためには、ビルオーナー・管理者、飲食店のみならずご協力が重要です。悪臭はみなさまにご協力頂くことで抑制が可能となります。



悪臭の原因物質を生成

4.3 わかりやすい 下水道情報の 提供

(1) 方針

緊急時における行動や利便性の向上のために、誰もがいつでも下水道情報を入手できることが望ましい。そのため、市報、パンフレット、そしてインターネットを活用しながら積極的に下水道情報を発信する。

(2) 具体的な施策

1) インターネットによる降雨情報等の提供

インターネットにより、市内の降雨情報及び北町雨水貯留浸透施設への雨水の流入量をリアルタイムで市民等に提供することで、自主的な避難行動の促進等につなげる。



市内の降雨情報及び北町雨水貯留浸透施設への
雨水の流入量に関するリアルタイム配信

2) 下水道台帳のインターネットでの公開

これまでは下水道課窓口のみで公開していた下水道台帳について、平成29年度からはインターネットでも公開するようにした。今後も引き続き利便性向上を常に念頭に置き、下水道情報へのアクセスを容易にする。